

第4章 重点整備地区の状況

1. 岐阜羽島駅周辺地域の状況

(1) 岐阜羽島駅周辺地域の状況

岐阜羽島駅周辺地域には、東海道新幹線駅である JR 岐阜羽島駅と名鉄竹鼻線の起点である名鉄新羽島駅の2つの鉄道駅がある。

JR 岐阜羽島駅には、改札内に上り用のエスカレーターが上下線ともに設置されているが、下り用エスカレーターは設置されていない。エレベーターは、上下線ともに、改札外に設置されている。

名鉄新羽島駅は、JR 岐阜羽島駅と駅北広場が共有されており、それぞれの改札口は100m程度しか離れていない。名鉄竹鼻線は、JR 岐阜駅へ接続するため、東海道新幹線から岐阜市内などへの乗り継ぎに利用する場合も見受けられる。しかし、ホームは高架になっているが、エレベーターやエスカレーターは設置されていない。

表 - 駅施設の状況

		JR 岐阜羽島駅	名鉄新羽島駅
乗降客数(平成14年)		約6,000人	約1,950人/日
障害者用トイレ		有	無
昇降施設	エレベーター	改札外	無
	エスカレーター	上り用	無
駅前広場		駅北・駅南	駅北
備考		乗客(約3,000人)を2倍して乗降客を推定している	

(2) JR 岐阜羽島駅周辺の土地利用

JR 岐阜羽島駅周辺は、田・畑や低未利用地が存在している。特に駅に近い場所には、新幹線駅という特徴からも広域からの利用者が多いため、駐車場が多く立地している。駅利用者の駐車場までの動線の改善が必要である。しかしながら、観光バスの停車スペースがなく、観光バスの停車スペースを確保する必要がある。土地の有効活用策の検討が必要である。

図 - 土地利用現況図

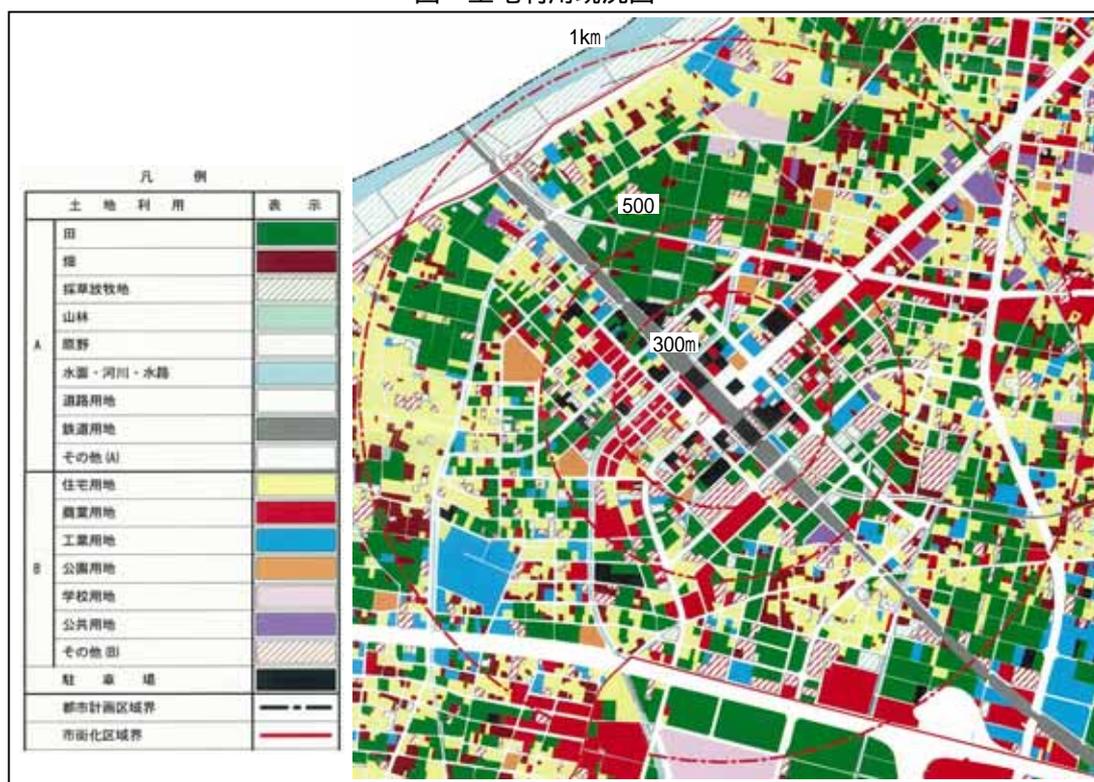
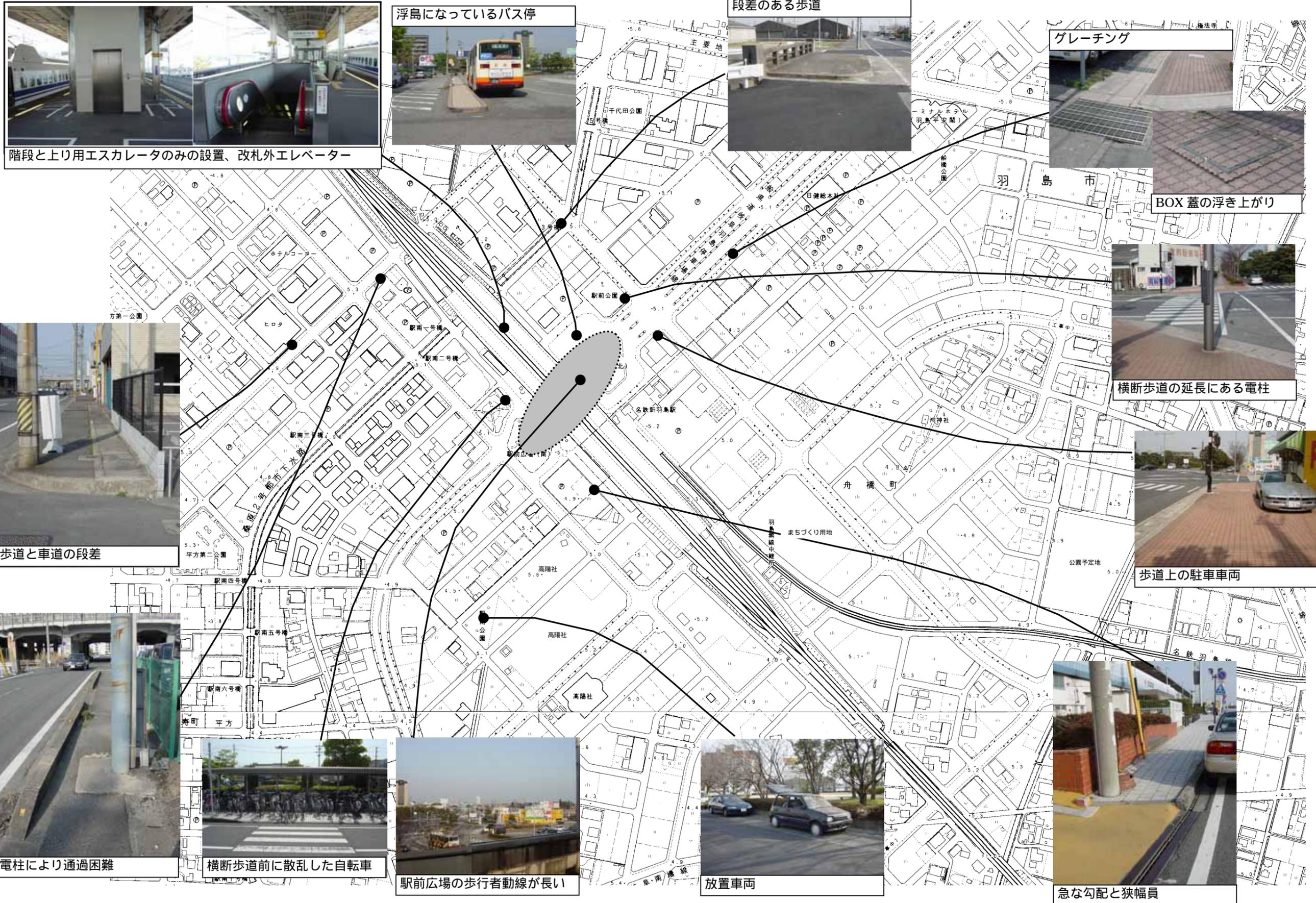


表 - 駅を中心とした範囲の土地利用現況(単位：㎡)

土地利用	300m 圏内		500m 圏内		1km 圏内	
田・畑	27,470	9.6%	185,755	23.4%	911,014	28.7%
山林・原野	13,094	4.6%	33,325	4.2%	154,171	4.9%
河川・水路	3,899	1.4%	7,833	1.0%	44,715	1.4%
道路用地	45,728	16.0%	161,836	20.4%	641,803	20.2%
鉄道用地	29,149	10.2%	43,027	5.4%	69,302	2.2%
駐車場	51,906	18.2%	51,906	6.6%	65,667	2.1%
住宅用地	12,764	4.5%	51,613	6.5%	569,227	18.0%
商業用地	30,635	10.7%	90,448	11.4%	219,816	6.9%
工業用地	982	0.3%	22,720	2.9%	135,592	4.3%
公園用地	3,477	1.2%	12,197	1.5%	32,471	1.0%
学校用地	0	0.0%	0	0.0%	37,187	1.2%
公共用地	0	0.0%	4,381	0.6%	25,420	0.8%
その他	66,192	23.2%	127,271	16.1%	264,527	8.3%
合計	285,295	100.0%	792,312	100.0%	3,170,912	100.0%

平成 14 年都市計画基礎調査より集計

(3) JR 岐阜羽島駅周辺の状況





施設の案内表示

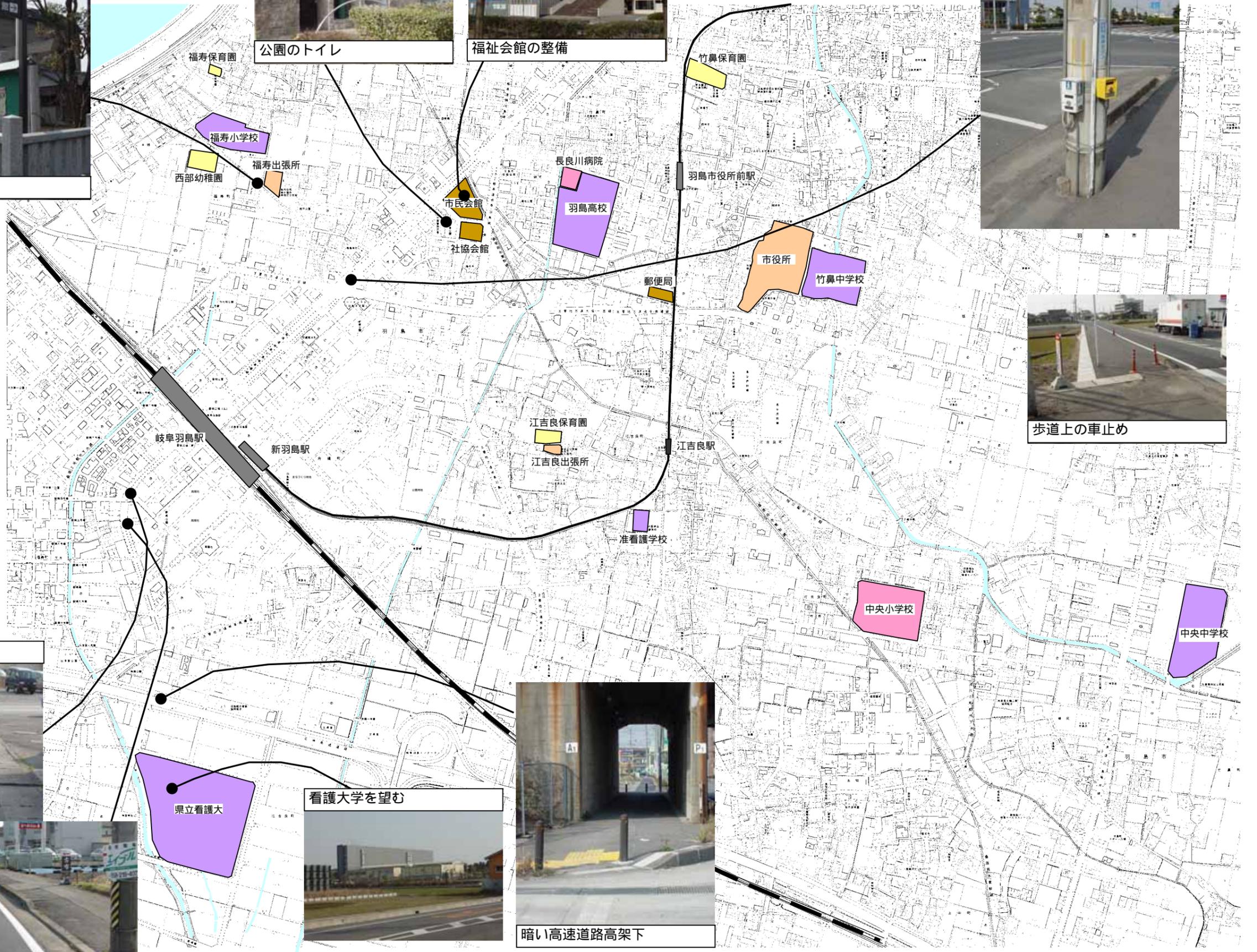


公園のトイレ



福祉会館の整備

高齢者・視覚障害者用押しボタン



歩道上の車止め

凸凹した歩道



県立看護大

看護大学を望む



暗い高速道路高架下

2. 市民及び利用者等の意見

(1) ヒアリング調査

本構想策定の中で、高齢者や身体障害者の方々を対象として、各団体に対して懇話会形式で意見聴取を行った。

羽島市身体障害者福祉協会

実施：平成16年5月6日(木)

参加者数：11名

羽島市老人クラブ連合会

実施：平成16年5月7日(金)

参加者数：14名

羽島市身体障害者福祉協会意見(平成16年5月6日)

JR 岐阜羽島駅構内について

- エレベーターの利用は可能であるが、事前に連絡が必要である。(改札口外にエレベーターがあり、独自での利用は不可能である)。<車椅子>
- 放送のみではなく大きな文字での案内情報版の設置が必要である(電車の遅延情報など)。<聴覚障害者>
- 切符を購入する際に筆談となってしまうため、駅員の簡単な手話理解やチェックシート式の購入紙があると便利である。<聴覚障害者>

駅前広場について

- 名鉄新羽島駅にエレベーターが無く、階段が急である。車椅子では利用不可能である。<車椅子>
- 名鉄新羽島駅への乗り換えに一部屋根が無いいため、雨天時には濡れてしまう。
- バスの利用は不可能である(バス停、バス車両)。<車椅子>
- 車椅子用の駐車場に一般利用者が駐車しているので使えない。教育面の充実が不可欠である。<車椅子>
- 駐車場の障害者割引がない。
- 視覚障害者誘導ブロックの色が見分けにくい。
- JR 岐阜羽島駅は北側に改札口があり、名鉄新羽島駅とは反対に位置している。南に改札があると非常に良い。(2階部分で連絡するとなお良い)
- 入り口、エレベーター、車椅子用駐車場がまとまっていると位置がわかりやすく利用しやすくなる。

駅と施設の経路について

- グレーチングに車椅子の前輪がはまってしまう(20mmはダメである)。マウントでは歩道が波打ち、凸凹になるのでフラットが良い。<車椅子>
- 歩道に電柱があると車椅子が通れない。
- 看護大学へ続いている、(都)岐阜羽島駅南線はマウント構造のため波打ちが激しく、自転車が車道を通行している。

JR 岐阜羽島駅の周辺イメージと将来像について

- JR 岐阜羽島駅の周辺には利用する施設が何もなく、市民になじみが薄い。
- ビジネス利用者が中心であり、市民は利用していない。
- JR 岐阜羽島駅を利用する場合には、自家用車で行く。
- 周辺の駐車場料金が安く、名古屋まで出て新幹線を利用するよりも、JR 岐阜羽島駅を利用している人も多いと思う。

中心市街地のイメージと将来像について

- 市民の生活に密着した地域である。
- 高齢者の増加傾向によって、今後の利用が増加するのではないか。

その他

- 市民病院等での車椅子用の駐車場が利用できない。
- 市役所の窓口が2階にあって不便である。
- 巡回バスの利便性を向上して欲しい。
- 羽島市の名物となるものが見当たらないので、特色が出しにくい。

名鉄、タクシー、バス、自家用車などへの乗り換えが便利だと良いと意見がありました。



段差や路上の電柱などの改修、わかりやすい案内表示などが求められています。

羽島市老人クラブ連合会意見（平成16年5月7日）

JR 岐阜羽島駅構内について

- 休日は窓口が混んで切符を買うのに時間がかかる。
- 下り用のエスカレーターがない。
- 駅が小さいので広く(名鉄と連絡。総合駅化。)して欲しい。
- 待合室を明るい雰囲気にして欲しい。

駅前広場について

- タクシーが正面に列を成しているの、一般者用の乗降場所を確保して欲しい。
- 名鉄新羽島駅への乗り換えの案内・誘導をして欲しい。
- 南側駅前広場は利用者が少ないので、送迎時に待ちやすい。
- 名鉄新羽島駅の階段が急で上り下りが苦痛である。
- 花壇を多くして欲しい。
- 市営駐車場が少ない。駐輪場を確保して欲しい。
- ベンチの設置をして欲しい。

駅と施設の経路について

- 市役所の支所での会議は、2階が多くて不便である。
- 駅の近辺で食事をする場所が少ない。来客時に、直ぐに食事がとれない。22時頃まで開いている店が立地して欲しい。
- 高山、郡上八幡、岐阜市内などの方面の案内板があると良い。
- 大垣一宮線の交差点に音響信号機を設置して欲しい。
- 高速道路の高架下が暗いので電灯を設置して欲しい。
- 歴史博物館を広い道路の近くにして欲しい。(利用者が増加する)
- 施設までの距離などを表示して欲しい。

JR 岐阜羽島駅の周辺イメージと将来像について

- 駅構内や近辺の売店を充実して、買い物ができるように。
- 交流の場として欲しい。(来客時にお茶を飲む場所もなく、移動しないといけない。)
- 駅前道路の樹木、駅前広場内の駐車場は必要ないのではないかな。
- 寂しい感じがするので立体的な工夫が必要である。

その他

- インターチェンジを中心とした案内板を設置して欲しい。
- 市役所北庁舎の東交差点での渋滞が激しいので信号機をつけて欲しい。
- 秋葉神社近くの歩道の凹凸が激しい。
- 道路標識や案内板を多くして欲しい。
- 踏切をはっきりとわかるようにして欲しい。



駅や施設での階段の上り下りについての配慮が求められています。

駅の周辺が寂しいので、岐阜の玄関口として、来客者を歓迎できる賑やかさが求められています。



(2) アンケート調査

調査の概要

本構想の策定に際して、幅広い市民の理解と協力を得るという目的から、市民を対象に、郵送方式でアンケート調査を行った。また、駅を利用している人に対してもアンケート調査を行った。このアンケートにより、市民意識や利用者の声を聞き、バリアフリー点検を実施する範囲などを設定した。

市民アンケート

期 間 : 平成16年6月 4日 発送
平成16年6月17日 締切
方 法 : 郵送配布(返信用封筒にて回収)
配布予定数: 1,000通(郵送配布)
看護学校へ依頼
市民会館へ設置

利用者アンケート

期 間 : 平成16年6月6日・7日 配布
平成16年6月17日 締切
方 法 : 直接配布(返信用封筒にて回収)
配布予定数: 1,000通(各日500通)

調査結果

表 アンケートの配布・回収状況

	配布日	配布数	回答数	回答率
市民(郵送)	H16.6.4	1,000	217	21.7%
市民(市民会館)	H16.6.4~6.17		2	
看護大学	H16.6.4~6.17		70	
利用者(平日)	H16.6.7	500	60	12.0%
利用者(休日)	H16.6.6	500	46	9.2%

JR 岐阜羽島駅までの交通手段

- 「利用者」「市民」は、自家用車での利用(自分で運転・送迎)が多いが、「看護大学」は自転車や徒歩が多い。
- 路線バスの利用回答はゼロであった。名鉄電車は「看護大学」の利用が見られる。

駅構内の改善点(市民・看護大学・利用者)

- エスカレーターの設置(市:16.2% , 看:17.9% , 利:23.9%)
- エレベーターの設置(市:11.0% , 看:10.1% , 利:18.5%)
- 照明・ベンチを増やす(市:13.5% , 看:12.5% , 利:10.4%)
- トイレのバリアフリー化(市:11.2% , 看:14.3% , 利:8.1%)

駅前広場の改善点(利用者)

- 自家用車乗降場の改善(北:35.8% , 南:20.5%)
- 歩行者用屋根の設置(北:20.0% , 南:19.2%)
- 歩道の段差解消(北:13.7% , 南:17.8%)

バリアフリーのまちづくりへの実現のために(市民・看護大学)

- 移動の円滑化の促進を図る道路のバリアフリー(市:18.6% , 看:26.7%)
- 駅前に様々な機能が集約されたコンパクトな都市(市:24.1% , 看:25.0%)
- 住民のバリアフリーの意識浸透による心のバリアフリーの実現(市:14.0% , 看:18.3%)
- 利用者の駐輪・駐車などのマナー改善(市:17.5% , 看:13.3%)

今後のまちづくり(市民・看護大学)

- 観光の拠点づくり(市:24.4% , 看:26.1%)
- 商業の集積したまちづくり(市:23.0% , 看:23.4%)
- 市民の集いのための拠点づくり(市:12.8% , 看:18.0%)
- 市民と来訪者の交流拠点づくり(市:18.8% , 看:9.9%)

表 道路の移動で不便なこと

	駅周辺				市全体			
	市民	看護大	利用者	小計	市民	看護大	小計	合計
歩道が狭い	17	3	12	32	23	9	32	64
歩道が波打っている	16	8	6	30	13	7	20	50
歩道がない	15	2	8	25	21	4	25	50
歩道に段差がある	28	15	19	62	29	12	41	103
誘導ブロックがない	9	2	2	13	5	1	6	19
看板などが移動の邪魔	8	1	0	9	7	2	9	18
歩道の水はけが悪い	22	15	9	46	15	21	36	82
案内板がない	21	4	8	33	14	2	16	49
道路に照明がない	27	24	13	64	37	22	59	123
ベンチがない	20	5	7	32	11	1	12	44
歩行経路が遠回り	19	5	12	36	12	2	14	50
その他	25	9	31	65	18	10	28	93

3. バリアフリー点検

(1) 点検目的

基本構想の対象となる JR 岐阜羽島駅及び駅周辺での主要な交通環境の点検を行い、問題箇所の確認・抽出をするためのバリアフリー点検を実施した。

また、様々な状況下での状況を把握するため、薄暮時についても調査を実施した。

点検結果については、今後の構想策定に向けたワークショップ(テーブル会議)を実施し、とりまとめを行った。

(2) 点検日・点検箇所・点検方法

車いす・薄暮時の調査

平成 16 年 7 月 1 日(木) 17:30 ~ 20:00

参加人数 36 名

市民など:3 名	老人クラブ:2 名
障害者団体:14 名	手話通訳:2 名
策定委員:6 名	事務局:9 名

調査内容

ルートの中から主な地点の点検を行った。

点検を行うポイントは、アンケート調査などを踏まえて設定している。

ここでは、車いすの方の視点から駅を中心に点検し、さらに薄暮時における状況を主要な道路において点検した。



全体の調査

平成 16 年 7 月 2 日(金) 9:30 ~ 12:00

参加人数 46 名

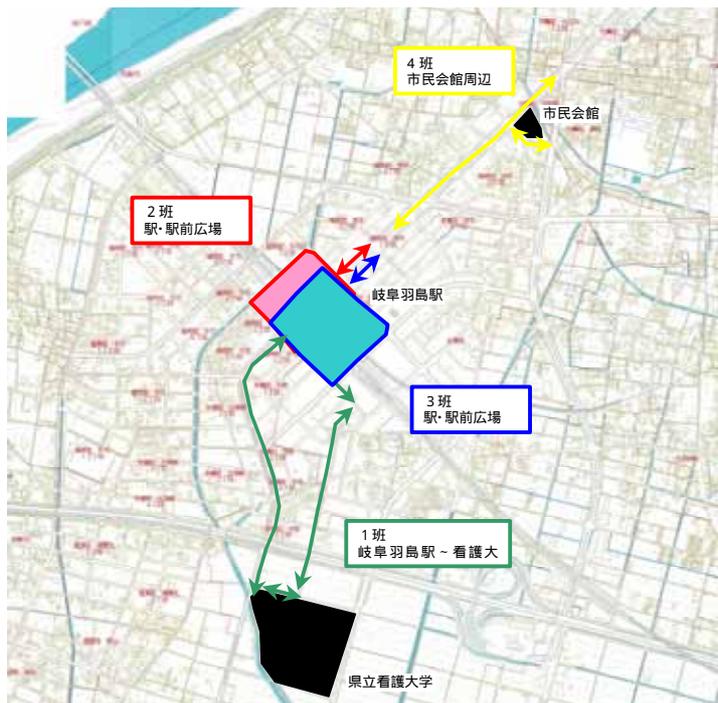
市民など:3 名	老人クラブ:9 名
障害者団体:11 名	手話通訳:2 名
策定委員:10 名	事務局:11 名

調査内容

4 グループに分かれて、それぞれ設定したルートやポイントを中心に点検を行った。点検を行うルートやポイントは、アンケート調査などを踏まえて設定している。前日に、車いすの方と点検をしたが、ここでは、聴覚障害・視覚障害などの視点や高齢者の視点でより詳細に点検を行った。

- ・ 1 班：駅南口駅前広場から県立看護大学周辺
- ・ 2 班：駅構内および駅北口・南口駅前広場と駅西側周辺
- ・ 3 班：駅構内および駅北口・南口駅前広場と駅東側周辺
- ・ 4 班：県道岐阜羽島停車場線と市民会館周辺

図 - バリアフリー点検箇所



駅前広場の点検エリア
点検経路



(3) 点検のまとめ

平成 16 年 7 月 2 日(金) 13:00～15:00

参加人数 44 名

市民など:3 名	老人クラブ:9 名
障害者団体:10 名	手話通訳:2 名
策定委員:9 名	事務局:11 名

まとめの内容

全体調査の 4 グループごとに、それぞれ点検した箇所の問題点をワークショップ(テーブル会議)形式でまとめた。まとめられた意見は、各班の代表者によって、発表をして、他の班からの質問や追加意見などによりとりまとめた。各班ごとの主な意見を以下にまとめる。

JR 岐阜羽島駅から県立看護大学方面(1 班)

- ・ 南口駅前広場の駐輪場がせまい。
- ・ 南口駅前広場から南東に向かう道路は凸凹で舗装が古くなっている。
- ・ 高速道路の高架下や水路が危険である。特に高架下にはライトが必要である。
- ・ 県立看護大学の前には横断歩道の設置が必要である。歩行者の動線が途切れている。
- ・ 側溝のフタ(グレーチング)の溝が道路と平行のために車いすのタイヤがはまってしまう。

JR 岐阜羽島駅構内(2・3 班)

- ・ 駅構内の中央部に売店があるので、構内を歩きにくく狭く感じる。買い物客がいると通りにくい。
- ・ 券売機やカウンターが高く車いすでは使いにくい。
- ・ エレベーターが遠い。
- ・ 駅北側入り口がせまい。

駅前広場および駅周辺(2・3 班)

- ・ JR と名鉄との乗り換えの動線が繋がっていない。名鉄はホームまでの階段が長い。
- ・ 名鉄新羽島駅では自動券売機がないので聴覚障害者には不便である。
- ・ 駅の周辺が街路樹で暗く感じる。
- ・ 障害者用駐車場、バス、名鉄との乗り継ぎが不便である。
- ・ 市営駐車場に段差があり車いすが利用できない。
- ・ こうか駐車場入り口と歩行者の動線が錯綜している。
- ・ 観光バスの停車スペースがない。
- ・ 荷捌き車両が歩道上に駐車されている。



JR 岐阜羽島駅から市民会館方面(4 班)

- ・ 側溝のフタ(グレーチング)が曲がっている。
- ・ ターミナルホテル前のバス停が車道上にあり、歩道から目立たない。危険である。ベンチなどを設置して欲しい。
- ・ 点字ブロックが少ない。
- ・ 交差点付近にある店舗への車両の入り口が明確になっていない。
- ・ 大きな信号では、信号機が遠くわかりにくい。音声も必要である。
- ・ 沿道の水田は夜間には見えにくいので危険である。(転落の危険性)
- ・ (都)大垣一宮線より北側では、街路灯が少ない。(南側でも電球の切れている物もあった)
- ・ 竹鼻町大西交差点では、地下道の入り口が暗く、中に入るのが怖い。



4. 問題点・課題の整理

(1) 羽島市および JR 岐阜羽島駅の周辺

現 状

- ・ 高齢化率が増加傾向にあり、単身高齢者も増加している。
- ・ 身体障害者数が増加しており、特に肢体不自由者が多くなっている。
- ・ JR 岐阜羽島駅は、新幹線駅として約 6,000 人/日の乗降客がある。
- ・ 市内の主要骨格道路は混雑度も激しく交通量が多くなっている。

課 題

高齢者・身体障害者等が安心して安全に移動ができる環境の創造が必要
JR 岐阜羽島駅での広域利用者への考慮
歩行者の安全性の確保

(2) 駅および駅前広場

JR 岐阜羽島駅

現 状

- ・ エレベーターが改札内に設置されていない。
- ・ 下り用エスカレーターがない。
- ・ 車いすには窓口の位置が高い。
- ・ 待合室のドアの開閉が困難である。

課 題

昇降装置の整備
高齢者・身体障害者等の利便性の向上

名鉄新羽島駅

現 状

- ・ 階段が長い。
- ・ 障害者用トイレがない。
- ・ 誰でも買える券売機がない。
- ・ 駐輪場から自転車があふれている。

課 題

昇降装置の整備
バリアフリー対応駅化の検討
駐輪場の整理やマナー向上

駅北広場

現 状

- ・ 点字ブロックが途切れている。点字ブロックの色が見えにくい。
- ・ グレーチングが危険である。
- ・ 歩道に段差がある。滑りやすい箇所がある。
- ・ バス停に段差がある。広場に浮島になっている。
- ・ 駐車場への横断歩道が段差になっている。
- ・ 歩行者動線が分かりにくく、遠回り。車両と錯綜する。
- ・ 雨がかからない場所に障害者用の駐車スペースが欲しい。
- ・ 市営駐車場への横断が危険である。高架駐車場前の横断が危険である。
- ・ バスの行き先が駅から見えない。

- ・ バス待ち合い場所(ベンチ、屋根)、売店などが無い。
- ・ 駅前公園が活用されていない。
- ・ 駅前広場に活気がみられない。側道が活用されていない。観光ニーズ、雨天へも対応が必要。
- ・ 駅前広場中心が市営駐車場となっている。

課 題

歩行者の安全な移動確保
歩道のバリアフリー化
歩行者空間の確保
身体障害者等に配慮した駐車スペースの確保
駅前広場の利用形態の検討

駅南広場

現 状

- ・ 点字ブロックが途切れている。
- ・ グレーチングが危険である。
- ・ 横断歩道部分に段差がある。
- ・ 歩行者動線がわかりにくい。
- ・ タクシー乗り場付近の歩道が狭い。
- ・ 駐輪場の自転車があふれている。
- ・ 無駄なスペースがある。

課 題

歩行者の安全な移動確保
歩道のバリアフリー化
歩行者空間の確保
駐輪場の整理・整備やマナー向上
駅前広場の利用形態の検討

(3) 岐阜羽島駅周辺地域

道路

現 状

- ・ 点字ブロックが設置されていない。
- ・ 照明が小さく少ない。連続して設置されていない。高速道路高架下が暗い。
- ・ 歩道から田への転落の危険がある。
- ・ 縁石が破損している。浮いている。
- ・ グレーチングが危険である。位置が悪い。
- ・ 側溝が劣化している。
- ・ 歩道に水溜りができる。波打ちがある。勾配が危険である。(アスファルトでわかりにくい)
- ・ 側道と歩道の見直しが必要。駐車車両がある。
- ・ 横断歩道前に電柱がある。車よけが歩道中央部にある。
- ・ バス停の位置が悪い。

課 題

歩行者の安全な移動確保
歩道のバリアフリー化
歩行者空間の確保

交差点部

現 状

- ・ 歩道が狭い箇所がある。(浅平四交差点北西部・舟橋町本町四交差点南東部)
- ・ 交通島への横断が危険である。
- ・ 信号待ちが長い。横断歩道を渡る時間が短い。
- ・ 横断歩道がない箇所がある。
- ・ 歩行者用信号がない箇所がある。
- ・ 信号機の音声がない。

課 題

歩行者滞留スペースの確保
交差点の改善(横断歩道、信号の設置)
信号現示の適正化、音声案内化

(4) 市民からの提案

まちづくりについて	市民の主な提案事項など
まちづくり	<ul style="list-style-type: none">・ 駅前に様々な機能が集約されたコンパクトな都市形成・ 住民のバリアフリー意識浸透による心のバリアフリーの実現・ 利用者の駐輪・駐車などのマナー改善
駅周辺の拠点について	<ul style="list-style-type: none">・ 観光の拠点づくり・ 商業の集積した拠点づくり・ 市民の集いのための拠点づくり・ 市民と来訪者の交流拠点づくり

ソフト対策について	市民の主な提案事項など
心のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none">・ 子供連れや荷物を持っている人へも配慮・ 歩いて自然を感じることができる道・ 環境の美化・ 散歩や休憩のできる道・ 障害者用駐車スペースに健常者が駐車する・ 出入り口のドアに子供が挟まれないように・ 駅員さんの気配りが大事・ 店を増やして明るい雰囲気づくり・ 住民が歩いて点検を実施する会の開催・ バス路線の充実・ 駅前の治安がよくないので駅前交番の設置

(5) まちづくりの課題

<p>《位置》 周辺市町村に対する明確な位置づけ</p>
<p>《歴史的変遷》 歴史・文化資産の有効活用</p>
<p>《交通条件》 岐阜県の玄関口としての機能強化 主要な幹線道路における道路整備の推進及びその沿道の有効利用</p>
<p>《人口》 定住機能の充実と宅地の供給 高齢者に対応した都市づくりの実現 昼間時における人口吸引力の強化 夜間人口に対応したゆとりある居住環境の形成 市内就業者増加のための企業誘致等 人口の適度な分散化</p>
<p>《産業》 線引き制度を効果的に活用した農地の保全 農業基盤整備による効率的な生産基盤の充実 多角的な工業機能の導入とこれに伴う工業生産性の向上 消費者吸引力の増強 身近な商店街の充実などによる商業全体の活性化</p>
<p>《土地利用》 市街化区域内の未利用地の整序の推進 適正な用途地域の配置と工業系土地利用の集約化(効率的な産業活動への支援のため)</p>
<p>《交通体系》 鉄道・バスへのアクセス性をはじめとしたサービス水準の向上 混雑度の高い道路を解消するため、都市内道路ネットワークの早期整備 市街地中心部への大型車流入の防止 整備の遅れている都市計画道路の早期整備推進</p>
<p>《都市施設》 都市公園の適正な配置による整備推進 良好な景観資源の有効活用 公共施設等のグラウンドの有効活用の推進 公共下水道及び特定環境保全公共下水道南部処理区の整備促進 公共公益施設の機能的な配置</p>
<p>《市街地整備事業》 土地区画整理事業の推進による面的整備 未利用地の整序方針に基づく計画的な街づくりの推進</p>

都市計画マスタープラン

5. 改善内容の検討

(1) 路線の再確認

岐阜羽島駅周辺地域について、「関係団体ヒアリング」「市民・利用者アンケート」「バリアフリー点検」などで指摘されたバリアフリーにおける課題を整理した。

さらに、策定委員会の中で、「期間が限られているので、重点的にバリアフリーを進める地域を絞り込んで、集中的に実施して欲しい」「特定経路を補完する機能が必要」「まちづくりに寄与するバリアフリーが必要」などの意見が出され、これらの意見を踏まえて、再度「市民・利用者アンケート」の結果を見直すとともに、前章で検討した視点に基づいて設定した特定経路および準特定経路の候補路線を踏査して道路の状況確認を実施した。

これらの結果を踏まえて、具体的に事業者協議を実施して実現可能な整備について検討した。

(2) 事業者協議

前章で設定した視点に基づいて設定した特定経路および準特定経路の候補路線について、「関係団体ヒアリング」「市民・利用者アンケート」「バリアフリー点検」などで指摘されたバリアフリーにおける課題、路線の再確認を基に、実現可能な方策についてそれぞれの整備主体となる事業者と協議を実施した。この協議は、交通バリアフリー法第6条4項に従うものであり、策定する基本構想が実効性のあるものとなるように、特定旅客施設、特定経路および準特定経路の改善計画を策定した。

さらに、特定経路および準特定経路を位置付けたことにより、一体的に整備することが効率的な地区について重点整備地区として範囲を設定し、バリアフリー基本構想を策定した。

